

2018年度全社協国研修 前期共通レジュメ

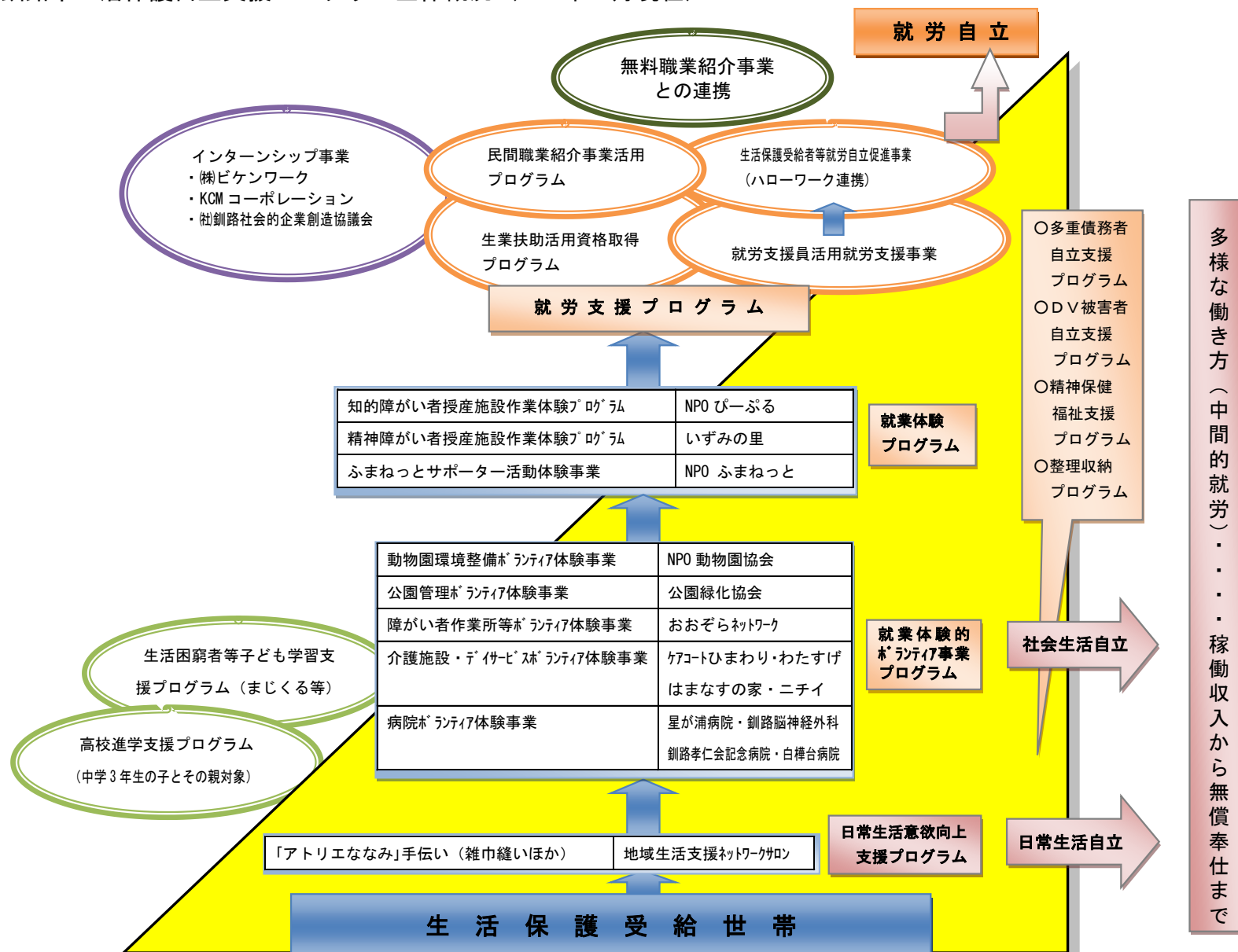
『講義と演習⑤』

生活困窮者支援を通じた地域づくり

(一社)釧路社会的企業創造協議会 櫛部武俊

現在の自立支援プログラム

釧路市生活保護自立支援プログラム全体概況（H30年4月現在）



【支援】
ケースワーカー・
民生委員・パーソ
ナルサポーター
など

【支援】
地域・事業所・
関係機関
など

社会生活自立



かけがえのない私と
居場所づくり

就労自立



日常生活自立



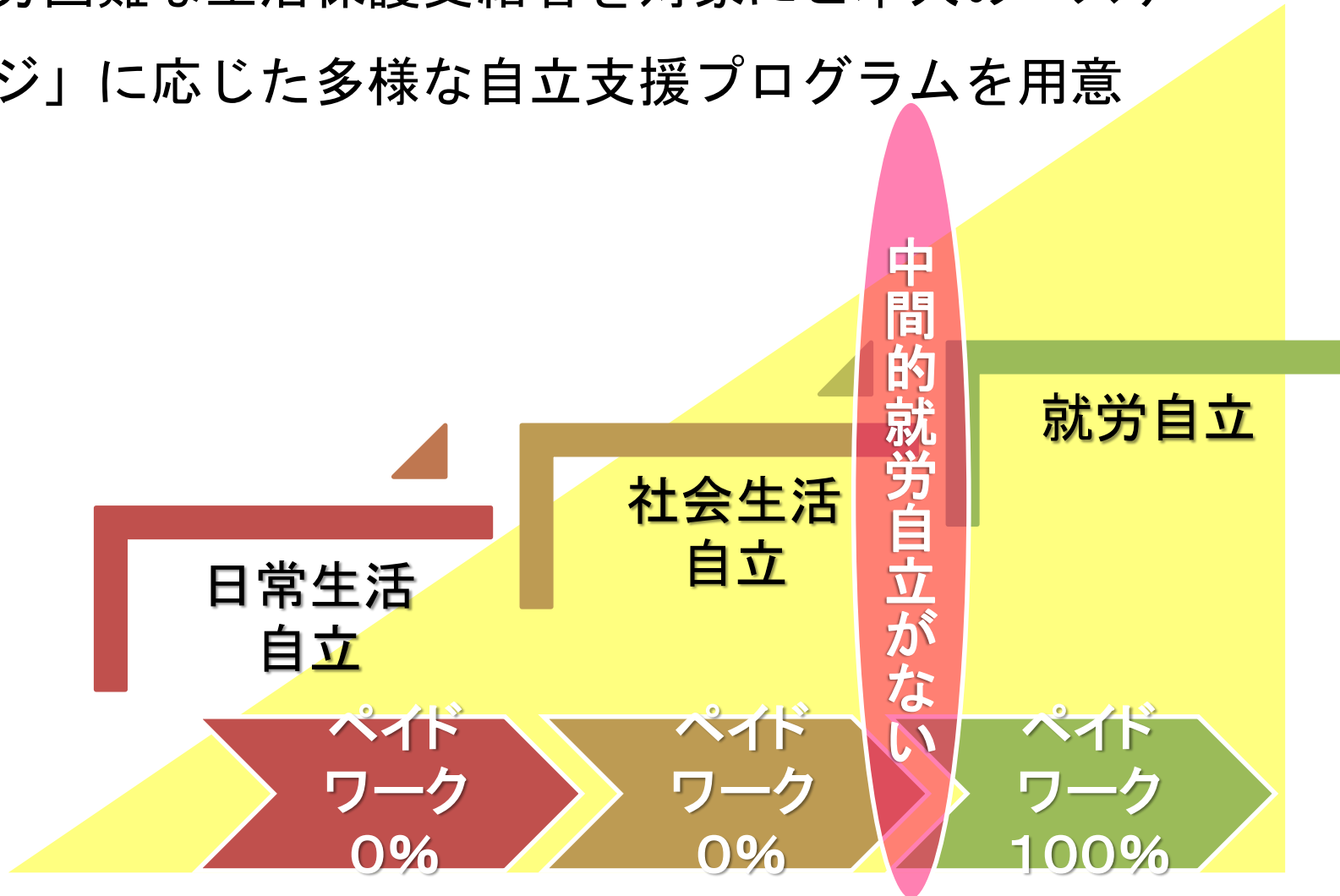
新しいケアの試み

沿革

年度	内容
平成 1 6 年	釧路市生活福祉事務所が、母子世帯の母親を対象にした自立支援に取り組み、「自立支援プログラム釧路モデル」がスタート。
平成 2 4 年	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会を設立し、釧路市より緊急雇用創出推進事業を受託。「社会的居場所づくりと連動した雇用の創出研究事業」を実施する。
平成 2 5 年	緊急雇用推進事業で創出された事業を実施するため、釧路市より「就労移行型インターンシップ事業（整網作業）」を受託。合わせて、釧路市と北海道より「自立相談支援事業」のモデル事業も受託した。また、厚生労働省・社会福祉推進事業「生活困窮者等への中間的就労（非雇用型）の場のモデル創出事業」も実施。
平成 2 6 年	引き続き、釧路市より「就労移行型インターンシップ事業」、釧路市・北海道より「自立相談支援事業（モデル事業）」を受託。さらに「就労準備支援事業（モデル事業）」も受託した。
平成 2 7 年	生活困窮者自立支援制度として、釧路市より「就労移行型インターンシップ事業（被受給者就労準備支援事業）」・「就労準備支援事業」、釧路市・北海道より「自立相談支援事業」を受託。

釧路モデルの分析

ただちに就労困難、あるいはケースワークだけでは就労困難な生活保護受給者を対象にご本人の「ステージ」に応じた多様な自立支援プログラムを用意





漁網の仕立て作業等



生活で経済的余裕が魚生産者の多様化に向けた第一歩になると作網を目指す銚路市事業に意を込めた。

ネットは球技で使用するベースと共用の遊の取組場所向けの草の刈取り付け切るなど、取り付ける。31日は市から生活保護受給者向け企業に委託した銚路市の企業に業協協議会が市内の

◀ 体育館内に設置するネットを加工する就労支援事業への参加者ら

自立の道広げる体育館ネット

釧路市の生活保護者支援事業 **漁網以外の製作は初**

ビルに約10人が作業ス
ムに約16枚、幅約3
の既製のネット2枚
を、設置場所に合わせ
スへお持ちした。

協議会では、抱いた
り、不足している漁網
に、本県産から漁網
的に取り組んでいる
参加者は技術を高め
る収入を得ている。

ネットはMOOの漁
整備を進める市が、漁
網を生産していても
ウハウウを放っている
おとと、発注された
漁網製作をほとんど
している山本輔社長（厚
町の山本輔社長）は
「これが、今までで
かった作業受けるの
待てる。」

MOOの避難施設設
体育館は、2011年
に廃止された屋内フ
ルを改修し、4月上
にオープンする見込
し。

（大津谷学）

創設
な折り
に使う
に使う
自立を
に計し
ツシカ
するを

地場産カラマツ材と漆網を使ったパイプ
イスの試作品。座面の網張りは生活保護
受給者の自立支援事業として行っている

カラマツ材と漁網でイス



釧路市が開発

イスは設置のバイブレイスをベースに改良した。カママツ材の背もたれは、鋼製建築家具生産協同組合が加工し、背中を包むようにゆるやかなカーブに仕上げた。

座面張りは生活保護自立支援事業

150脚 MOO多目的アリーナに

[illegible]

地域で支えられていた人が 支える人に回る仕組みを構築

生活困窮者支援を通じた地域づくり

- ・ 漁業は、釧路市・厚岸町の基幹産業であるが、その下支えをしている漁網業界の現場（整網作業）で高齢化が進み、担い手不足により業界の存続が危惧されている。
- ・ 整網作業は、機械化するのが困難であり、今後も手作業に頼るしかないのが現状である。
- ・ 新たな担い手が生まれない大きな要因は、作業の習熟度が上がらないと、一定の収入が得られないことにある。
- ・ そこで、本協議会の取り組む中間的就労自立の場として、整網作業に取り組み、同時に問題解決を図るのが狙いである。

釧路市都市経営戦略プラン

人材育成と 雇用づくり



生活保護受給者の
就労の様子
(自立支援プログラム)

地域の労働力を向上させ、釧路市を支える確かな基盤を作るため、地域経済を支える人材の育成に取り組みます。

新たな雇用の場を創出するため、企業と求職者のマッチング、雇用の場となる中小企業の支援を行うほか、ソーシャルビジネスによる雇用づくりに取り組みます。

具体的な取組例

- 将来の担い手である子どもたちに向けた、職業や社会を体験できる場づくりや学んだことを社会で実践できる場づくり など
- 釧路における様々な事業を支えるための有資格者の養成や人材育成を図る取組
- 生活保護受給者の中間的就労自立に向けた調査研究
- 地元技術や匠（人）の認証制度など頑張る企業、挑戦する企業を応援する取組
- ソーシャルビジネスの担い手となるNPOなどが活動しやすい環境づくり

困ったときは… **生活相談支援センター**

『**くらしごと**』へ **まずはお電話を！**

☎0154-65-1250

地域の中にはいろいろな
解決方法があります。

相談あいてが
いない
仕事がない 生活が
家族のことで… 苦しい



釧路市・釧路管内生活相談支援センター

くらしごと
暮らし×仕事

安心した
暮らしへ

相談・支援はすべて無料です。個人情報など秘密は厳守します。

まずはご相談ください。
ご本人と一緒に解決方法を考えます。

こんなこと相談してもいいのかなぁ～と思っても…気軽に電話してください。

★ 詳しくは、裏面をご覧ください。★



漁網の整網作業



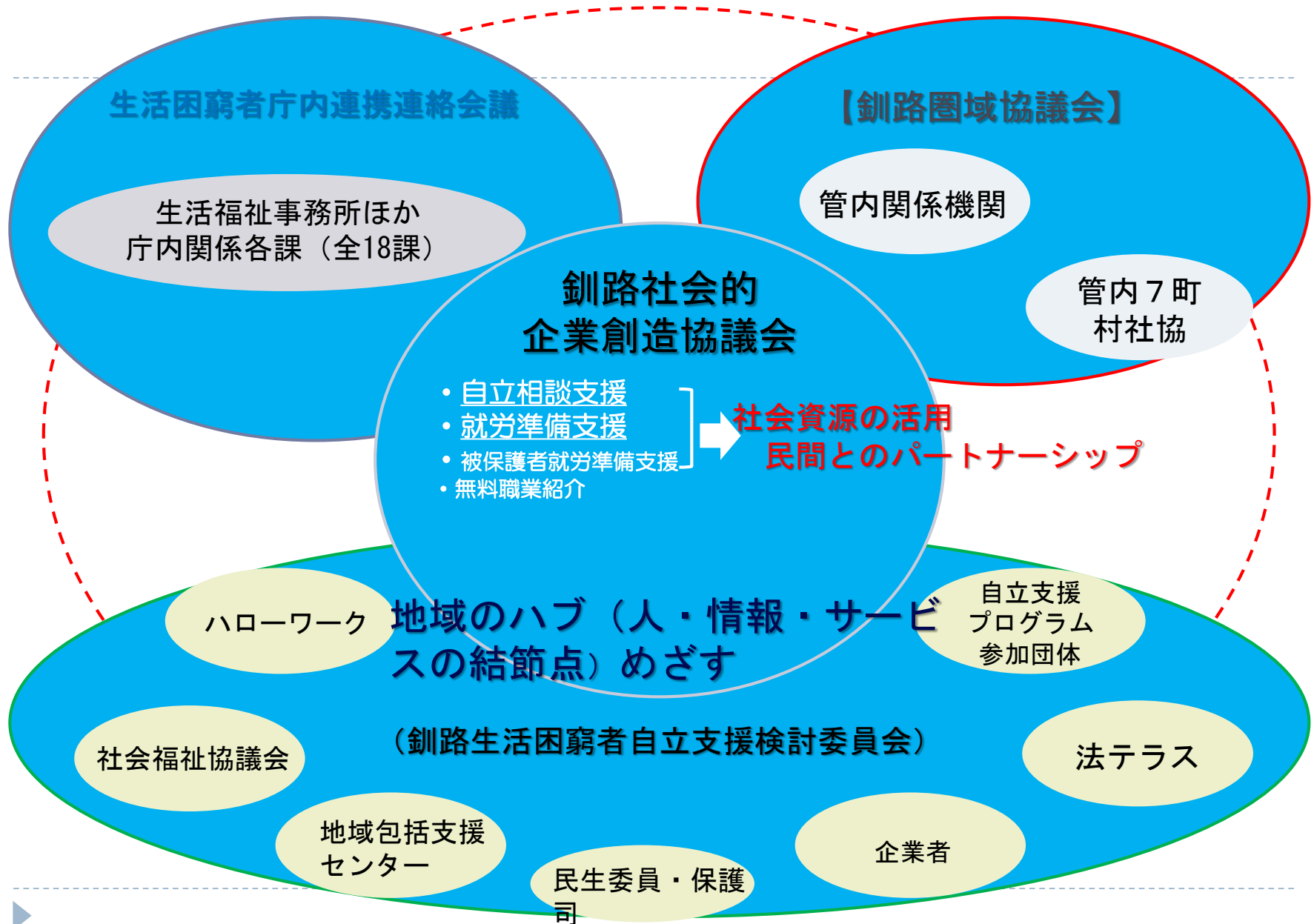
釧路市指定ごみ袋の封入作業



見学・体験



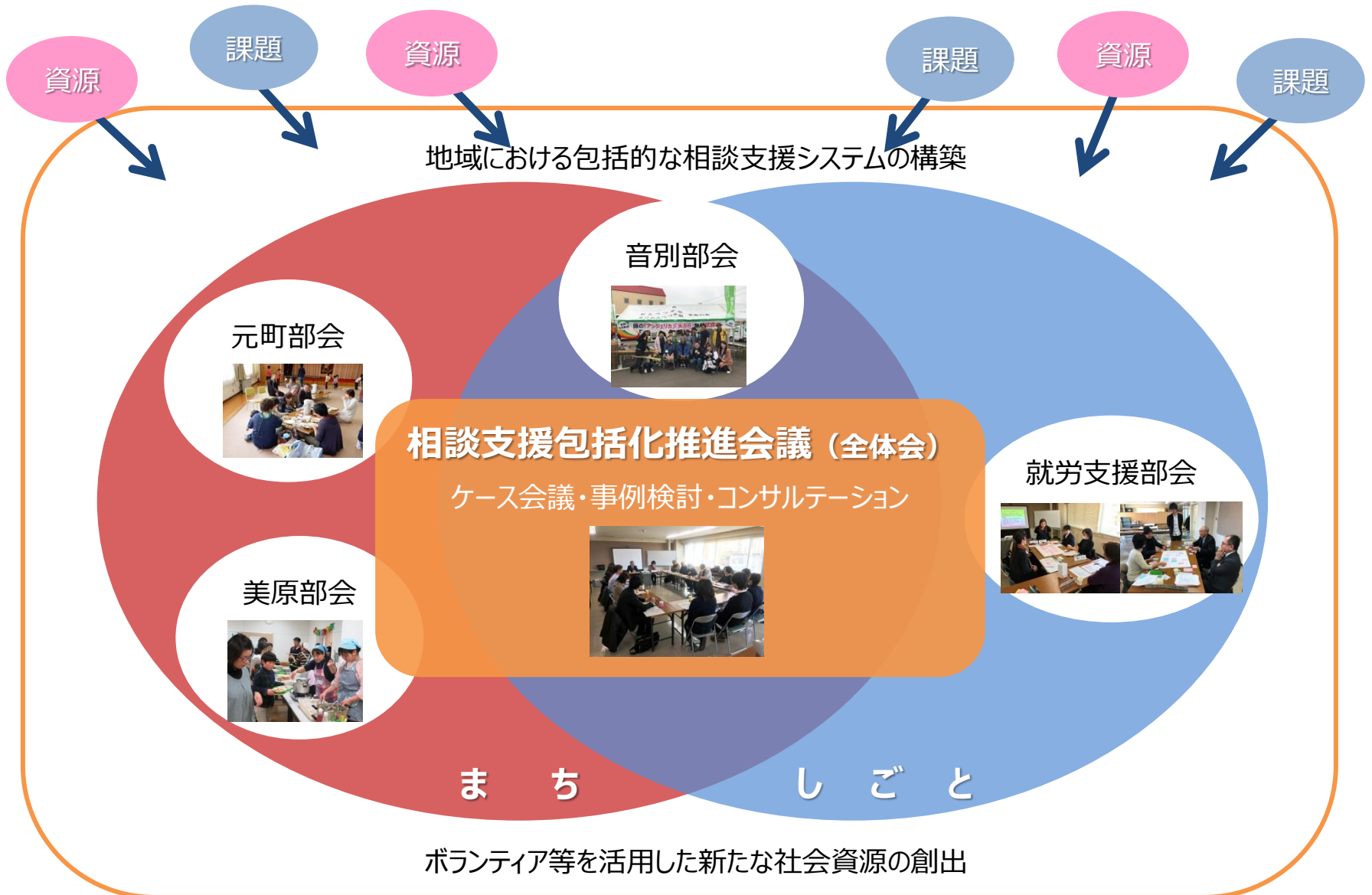
パートナーシップ





包括的な相談支援システム構築事業について

以下のような具体的な試みを通じて、協働による包括的支援体制を構築する。



みはらかがやき食堂



みはらかがやき食堂



元町お寺食堂



元町お寺食堂



就労支援部会



就労支援部会



旧音別町の地域課題

- ◆**人口減** 2005年平成の
 - ▶ 大合併人口2,756人⇒
 - ▶ 2019年人口1,909人に減少
- ◆ 中心から周辺になる。議員ゼロ
- ◆ 基幹産業は酪農・林業など
 - ▶ 2軒になる自生酪が枯渇。
- ◆ 営農を辞める酪農家
 - ▶ ・ ・ **生活困窮と孤立化**
- ◆ 音別住民の**自尊心**と**地域**
 - ▶ 観光政策 **雇用 困窮支援**
 - ▶ 地域の**つながり**で組み立てる
 - ▶ (まるごと)



音別部会



音別部会～落のほ場



音別部会









相談支援包括化推進員の役割・・コミュニティワーク

釧路地域

住民に身近な圏域



地域課題を捉えるキーパーソン + コミュニティ組織の立ち上げ



資源



ノウハウ

相談支援包括化推進員

つなぐプロ（キーパーソン）の発見